

# なかつ市議会だより

令和5年  
12月議会

令和6年能登半島地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

一般廃棄物し尿収集運搬許可業者の皆さまと意見交換会を行いました!



令和5年10月24日(火)、総務企画環境委員会は、一般廃棄物し尿収集運搬許可業者の皆さまと意見交換会を行いました。

意見交換会には、3事業所7名の方にご参加いただき、一般廃棄物し尿収集運搬業の現状や課題などについて、活発な意見交換が行われました。

市長に人口減少対策についての提言書を提出しました!



令和5年12月26日(火)、奥塚市長に対して、「まったなしの人口減少対策に立ち向かう提言書」を提出しました。

令和5年6月議会で設置された人口減少対策特別委員会では、移住定住政策の現状を改めて見直し、婚活支援等における新たな施策、九州周防灘地域などの近隣自治体との積極的な連携を念頭とした施策の実践を緊急4ヵ年計画としてまとめました。

引き続きこの人口減少問題を重点課題として捉え、今後も調査研究に取り組んでまいります。



# 代表質問

- ◆毎年1回、会派の代表者が具体的政策を、主に市長及び教育長に対し質問するもので、今年が15年目になります。なお、例年は9月議会において実施していますが、本年は市長選挙の関係により、12月議会での実施となりました。
- ◆QRコードをスマートフォン等で読み込みいただくと、インターネット中継の議員ページにアクセスします。



ほんき

代表質問者

さがら あすか  
相良 亜寿香



## ◎「なかつ安心・元気・未来プランについて」

**問** ひとりも命を落とすことのない、安心して過ごせる災害に強いまちづくりと、第一次産業の振興について、具体的なお考えをお伺いします。

**答** ハード対策としては、山国川の洪水対策については、国・県は「山国川床上浸水対策特別緊急事業」等を実施してきました。山国川の改修事業は、計画的に行っており、7月の土砂撤去等の緊急予算も確保し、今後の豪雨に対しての被害の軽減を図っている所であり、市も早期完成を要望するとともに、浸水被害の状況を調査し、計画的に行っております。防災監視カメラについては、現在下毛地域に24箇所設置していますが、河川監視カメラの増設も進めて参ります。ソフト対策としては、元自衛官である人材を「防災危機管理監」として採用し、更なる地域防災力の強化に努めます。

第一次産業は、担い手確保と育成が喫緊の課題であり、各種支援や補助に加え、地域おこし協力隊一次産業枠の募集や、スマート農業を積極的に推進します。6次産業についても、戦略的な取組みを実施して参ります。



7月10日災害時の本耶馬溪町樋田の陸間の様子

**問** 「住みたい街」と思える街づくりに、居住環境の整備が重要だと考えますが、旧下毛郡を含む市営住宅の整備や建設についての具体的な施策があればお伺いします。

**答** 社会情勢や生活様式の多様化による住民ニーズに対応した整備や、高齢者や子育て世帯等が安心して生活できるよう住環境の整備や住宅セーフティネットの取組みを推進していく必要があります。公営住宅の建替え等については、中津市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市内全域で計画的に進めております。良質な民間賃貸住宅の活用についても、居住支援ネットワーク会議を通じて議論を進めています。空き家については、本年から市内全域に空き家バンクを拡充し、徐々に増えています。自治会や不動産事業所等の方々と連携・協働し、空き家対策の充実を図って参ります。

す。住宅を取り巻く環境は大きく変化しており、今後も社会情勢や住民ニーズを常に注視しつつ、政策を着実に進めて行きながら、居住環境の整備に努めて参ります。

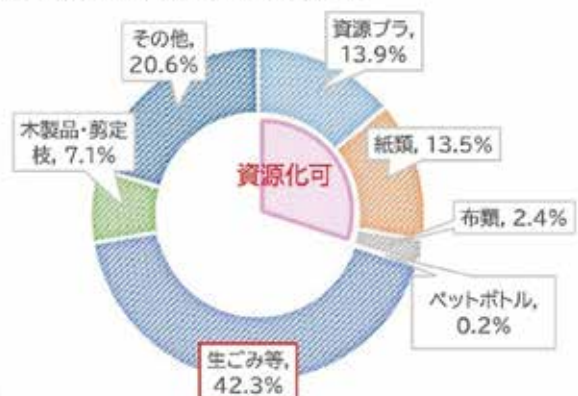
**問** 旧下毛郡の小・中学校の今後の在り方について、幅広く考えを聞く機会を設けてはどうか。また教職員の労働環境についてお考えをお伺いします。

**答** 学校は生きる力を育む場であり、社会性や規範意識を身につけさせることが重要になります。そうした教育を行うためには、一定規模の児童生徒集団が確保されていることや、経験年数、専門性、男女比等について、バランスのとれた教職員集団が配置されていることが望ましいと考えます。今後の方向性を決めることに関しては、学校が地域コミュニティの象徴でもあるという一面も踏まえた上で、保護者や地域の方、学識経験者などから構成された検討委員会の設置を考えています。その中で、子どもを主人公に置いた議論を重ね、方向性を出したいと考えています。教職員の労働環境について、特に休日の部活動の地域移行が全国的にも注目を集めています。国や県他市の動向を注視しつつ、教育委員会と学校の代表者をメンバーとした「地域部活動検討会議」を持ち、協議しております。可能な限り早期の実現をめざします。

**問** 環境保全について、リサイクル率の目標（34.9%）を達成するためにも、4割を占める生ごみ対策と不燃物のリサイクルを含めた、中津市独自の施策を作るべきでは。

**答** 市民の皆さんのご理解とご協力により、ごみ排出量は近年、減少傾向にあります。しかしながら、本年6月に実施したごみの組成調査結果では、燃やすごみのうちおよそ3割は、資源プラ、紙類等の資源化が可能なものでした。また生ごみは、その約4割を占めており、食品ロスを減らす取組みを推進するとともに、自家処理などにより、生ごみの排出抑制を図る必要があります。令和3年7月から容器包装プラスチック、令和5年4月から製品プラスチックの分別回収とリサイクルを他市に先駆けて実施しました。これまでも中津市廃棄物減量等推進審議会への諮問、答申などにより、ごみ減量施策の一体的な実施を進めて参りました。今後の環境の保全に対しても、ごみ排出の状況や処理方法、施設の状況などを総合的に勘案し、更なるごみの減量、リサイクル率の向上に努めて参ります。

〔R5燃やすごみ組成分析調査結果〕





前進

代表質問者  
はやし ひで あき  
林 秀明



◎災害を人災にしないための見直しについて

問 7月の大雨災害は、早期復旧に努め、場所によっては復興の施策をし、新たな災害の備えを期待します。例えば、災害の初動対応は、監視カメラ24台による24時間監視体制を構築したが、情報を活かした迅速な対応策はできていますか。「罹災証明書」を迅速発行する、新システム対応タブレット端末を利用した効率化に取り組むべきでは。また、情報取得手段である防災ラジオの配布増や活用の見直しを図るべきではないですか。

答 河川監視カメラ映像は、中津市ケーブルテレビ及びチューブにライブ配信することで、早めの避難を呼びかけており、今後はより多くの地点の情報収集のため、カメラの増設を進めます。「罹災証明書」の発行は、現場に向いて迅速な対応に努めていますが、今後は新システム活用の効果や課題等の情報収集を行います。次に、防災ラジオは貸与の条件が中津地域の65歳以上の高齢者のみの世帯ですが、無線の放送が聞こえにくい方にも貸与しており、今後は市報やラジオ・チラシ等で継続的な防災ラジオ配布の周知に努めます。



防災緊急告知FMラジオ

◎まちの活力源(ホコ天・スタバ)について

問 大分市では、年5回市内で、歩行者天国によるイベントを行い、多くの人で賑わいがある。当市には、賑わいの歩行者天国がない、なぜですか。例えば、官民連携で中津駅北口前から交差点までをエリアマネジメント活動の活性化を行うため、歩行者優先の道路空間利活用の検討をすべきでは。次に、オープン予定のスターバックスコーヒー、多くの市民や近郊の方がウキウキ・ワクワクしていると思います。「人と人、人と地域など、たくさんの繋がりが生まれるコミュニティの場」、スタバさんが出店されることで相乗効果に期待し、連携しての活力ある取組みをお伺いします。

答 中津駅周辺は、「都市機能を集約したコンパクトなまちづくり」を進めており、歩行者天国は地元商店街をはじめ民間の機運醸成を踏まえ、周辺住民等のご理解をいただき、賑わい創出に繋がればと考えます。次に、スターバックスコーヒー等、市内の娯楽・余暇コンテンツが徐々に充実することで、まちとしての魅力アップが期待できます。今後、集客力や訴求効果などを活かせるような取組みの可能性を模索していきます。

◎スポーツでまちが変わることについて

問 ダイハツ九州アリーナが、春に生まれ変わります。改修されるLED化や床工事、特に\*タラフレックスの床は弾力性があり、体にかかる負担の軽減や転倒時の激しいケガのリスクを緩和でき、子どもからご年配の方まで、幅広い世代の方に安全にご利用いただけます。現在、日本の屋内球技指導者で有名な方が中津にお二人います。元バレーボール女子日本代表コーチ相原昇氏、現バスケットボール女子日本代表ヘッドコーチ恩塚亨氏です。ぜひ、お二人の協力の下、ダイハツ九州アリーナをスポーツの普及振興・実践の場・情報発信地として、積極的な事業展開をすべきではないですか。

答 ダイハツ九州アリーナで、夏に全国高校総体男女バレーボール競技が行われます。一般の利用でもバレーボール、バスケットボールの利用は盛んであり、両競技を中心にPRしていくのが効果的と考えます。今後も中津市にゆかりのある日本を代表する屋内球技指導者のアドバイス等も頂きながら、市民ニーズに応えるスポーツ拠点施設として、様々な大会やイベントの誘致に努めます。



ダイハツ九州アリーナ館内

◎地域が望む共生社会(動物・干潟)について

問 近年のペットブームにより、様々な形態で動物が飼育されるなか、地域住民の生活環境の保全と動物愛護の双方を両立していくため、動物共生社会の条例制定の方針をお尋ねします。次に、環境共生の大切な中津干潟は、内湾の水質や多様な生物が生息する特別な場所です。近年の豪雨等により、大量の土砂や木の堆積が生じ浸食され、同時に泥質化して環境が危機にさらされています。今後、中津干潟の保全や再生をどのように考えているのかお伺いします。

答 「第3次大分県動物愛護管理推進計画」に基づき、当市も人と動物が共生できる社会の実現に向け、県・ボランティア団体や地域住民の協力で、普及啓発や意識の醸成に努めており、条例については社会情勢等の状況に応じ必要性を検討します。また、中津干潟の現状は底質の硬化、泥土の堆積、砂の流失による地盤低下などが起きており、保全や再生への取組みは重要です。海底を掘り起こす漁場耕うんの改善を実施し、干潟漁業の再生に向け各種施策に取り組みます。



中津干潟のクリーンアップ



語句の説明

\*タラフレックスとは、衝撃吸収性が高いスポーツシート(素材)のこと。



清流会

代表質問者

きのした 木ノ下 素信



◎子どもを産み育てやすい環境づくり

問 子どもを産み育てたいと望む人たちが安心して子育てし、子どもたちが健やかに成長できる環境を整備するため、これからの具体的な政策展開をどのように考えているのか。また、子どもや子育てに関する様々なニーズに応えるため、子ども未来部を創設し、子どものための未来づくりを行う考えは。

答 妊娠から出産、子育て期のそれぞれのライフステージに応じた支援策等をパッケージ化した「なかつ子育て安心リレープラン」を毎年策定し、有識者や保護者等で構成される『中津市子ども・子育て会議』で、施策の点検・評価等を行うとともに、重層的支援体制整備事業として、部署を越えた関係各課や市内機関にて連携・情報共有・協議を行っており、縦割りに横串を通す体制を構築しています。また、子どもに関わる部署については、子育て世代包括支援センター及び子ども家庭総合支援拠点の機能の一体的な運営を行う、新たな組織の創設を検討しております。



桜っ子広場

◎未来ある農林水産業に向けて

問 農林水産事業者の新事業創出につながる、2次産業、3次産業と融合・連携した6次産業化への取組みを充実していくための支援策は。

答 6次産業商品の高付加価値化を目的として、平成27年度より、なかつ6次産業推奨品認証制度「NAKATSU(なかつ) Five(ファイブ) Stars(スター) Story(ストーリー)」を創設し、地域資源を活用した6次産業商品を推奨品として認証しております。令和5年11月24日に新たに3事業者を認証するなど、これまでに25事業者37件の推奨品を認証してまいりました。今後は、既存の6次産業商品のみならず、1次産品や工芸品など現存の銘産品の知名度向上や販路拡大、新たなブランド商品の開発等を目的とした市を代表する新しいブランド認証制度を設け、広報活動やブランド維持のための事業を戦略的に実施してまいります。



6次産業推奨品

◎生涯を通じて自らが学ぶ「学びたいまち」を推進

問 市民が生涯いつでも自由に学習機会を選択し、学ぶことができ、その成果を適切に評価され、地域づくりに貢献できる環境が必要だと考えます。様々なニーズに応じた実践かつ専門的なプログラムや、広く関心を高めるための「学びたいまち」を推進するための取組みは。

答 自ら学ぼうとする市民のニーズに応える「学び」の場や、人と人が関わることのできる「学び」の場を、公民館をはじめ地域の中に作っていきます。さらに、子どもたちが故郷に誇りと愛着を持ち続けることができるよう、「ふるさと教育」を様々な対象、手法により推進していくとともに、それを支援することができる大人の学習の場づくりも充実させていきます。また、地域づくりに貢献できる環境づくりとして、コミュニティスクールの取組みが挙げられます。地域と学校と家庭が連携を強化し、子どもの学びや育ちを地域ぐるみで見守り、校区の歴史や自然を学ぶ体験を重視した学習に取り組むだけでなく、地域の大人たちの活躍の場ともなり、さらなる学びへと繋がることを期待しています。



中津少年少女ふるさとクラブ

◎様々な施策の市民への広報

問 市が行っている政策や事業について、市民に知らってもらうために行う情報発信はとても重要です。インターネット中継、ケーブルテレビの放映も行われている議会での代表質問、一般質問での市長の答弁も、大きなものになると考えます。今まで以上に議会での答弁を活用しての新たな政策、重要な政策の発信を行う考えはありませんか、お尋ねします。

答 私(市長)をはじめ執行部は、議員の皆さんのご質問にお答えすることを通じて、市民の皆さんにお知らせしているという意識を持って臨んでおります。今後も、議会での答弁を通じて、私自身はもちろん、執行部の全員で市民の皆さんに情報を届けてまいります。



日本共産党

代表質問者

あら き ひろこ  
荒木 ひろ子



◎4月からの学校給食無償化を

問 市長選挙では、「暮らし満足No.1を目指し、未来へ前進する」とされましたが、市民が望む満足には程遠いと感じます。一貫して国県の動向を注視する姿勢ですが、自ら決断することが市長職には求められます。市民は決断する市長を待っています。先ず、学校給食無償化に踏み出して国に助成を求めてください。4月から何等の支援もない状態ではNo.1とはいえません。市議会は「学校給食無償化を求める請願書」を採択しています。4月から学校給食無償化は実施できますか。

答 暮らし満足の市民の受け止めについては、ご理解いただき、さらなる向上を望まれていると感じました。学校給食の無償化については、市長会を通じて地域格差を生じることのないよう国による公費負担の要望を続けていきます。来年度4月からの施策については、国の予算編成の動向も勘案しながら、法の趣旨に添った上で、市政全般を見据えた適正な判断に努めます。



山国共同調理場「学校給食1日まるごと大分県」の日の献立

◎国民年金で利用できる介護・高齢者施設増を

問 国民年金で利用できる介護・高齢者施設を増やして低年金の高齢者でも利用できる施設を増やしてください。特別養護老人ホームに入りたいと希望しながら入れない待機者が89人もいます。この方たちは、介護保険料はきちんと取られています。しかし、必要なサービスを受けられないのはおかしいのではないのでしょうか。施設を増やすには、立派な建物を新設するだけでなく、例えば地域の空き家、学校跡とかをリフォームして利用することも考えてほしいと思います。高齢者・障がい者とその家族が「中津におったら、安心よ」と思えるようにすべきでは。

答 10年20年後、65歳以上の高齢者が減少に転じると推計されており、特養ホームも空床が予想されます。特養ホームの整備方針は、今年度策定する次期介護保険事業計画で施設整備について、空き家などの活用も含め、介護ニーズや事業者の意向調査を考慮し、計画策定委員会の中で議論・検討します。

◎度重なる災害の早期復旧を

問 豪雨災害の早期復旧を求めます。被災農地などの復旧の要望は。

答 96か所被災し、12カ所は復旧を望んでいません。

◎高すぎるごみ袋は値下げを

問 大分県一高いごみ袋の値下げを求めます。市は、「袋は高い程ごみが減る」と言いましたが、あまりにも市民のごみ減量の努力を無視した考えに思えます。中津市民は、安いごみ袋でもごみ減量に、リサイクルに努力する市民です。値下げを求めます。クリーンプラザの改築にあたって、市民に歓迎される施設とするためにも、検討段階から市民の意見の聴取を充分に行うことを要望します。市民プールの改修も求められています。焼却炉の余熱利用のプールの建設の考えは。

答 指定ごみ袋の金額は、ごみの排出抑制と減量効果が期待できる水準を考慮し、中津市廃棄物減量等推進審議会の答申も踏まえ、金額設定を行いました。クリーンプラザの建て替えは、市民生活に大きく関わるもので、市民の皆さんの御意見もお聞きしながら、利用可能エネルギーの活用も含め、施設の在り方を検討します。



大分県内各市のごみ袋の価格

	10枚あたりの価格	袋の大きさ
中津市	400円	40ℓ
宇佐市	220円	45ℓ
別府市	220円	45ℓ
日田市	360円	45ℓ
杵築市	210円	45ℓ

◎中津市から平和の声を

問 身近に迫る戦争の足音、最近特に、軍事化の動きを感じるのには私だけではないと思います。大分市の敷戸の新たな弾薬庫の設置40億円の予算化もすでにされています。日出生台・十文字原での日米軍事訓練も回数が増え、湯布院には敵基地攻撃の部隊が設置されるということです。築城基地から戦闘機が夜間早朝にも爆音を立てて、中津市の上空を飛んでいます。大分空港も戦闘機の訓練場として使用されました。日本国憲法第9条で二度と戦争をしないと誓った国とはとても思えない軍事力の増強は、「今、黙っているは大変なことになる」という市民の声を地方から日本政府・岸田自公政権に届けるべきではないのでしょうか。市長の戦争しない国づくりへの考えを伺います。

答 市としても、誰もが安心して暮らせる恒久平和の実現に向けて取り組んでいく必要があると考えています。戦争や原爆の悲劇を風化させることなく、次世代へ伝え、戦争を知らない世代に引き継ぐため、今後も学校での平和授業や歴史博物館での戦争資料の展示など、平和に対する取組みを継続してまいります。



市民の会

代表質問者

おおつか まさとし  
大塚 正俊



◎人口減少対策について

**問** 2015年10月に「中津市版まち・ひと・しごと創生総合戦略」と、これに伴う将来の人口推計を示した「中津市版まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」が策定されて8年が経過し、2020年度には第2期計画に移行しました。

現行のまま推移した場合、山国町、耶馬溪町、本耶馬溪町では、2050年時点の人口が1,000人を下回る危機的状況に陥ると推計されます。旧下毛地域に限らず、市全域での「人口減少」がいよいよ深刻な段階を迎えています。

これまで、人口減少対策や雇用対策など地方創生に向けた施策が進められてきましたが、人口減少・少子化に歯止めがかかっていないどころか、加速化しています。今後、更なる人口減少によって、産業・雇用、地域生活、医療・福祉、行財政サービスへの影響が顕著に表れてくることが懸念されます。

人口減少の原因は、「少子化」と「人口流出」、この2つです。今、人口減少の流れに歯止めをかけ、反転させない限り、中津に未来はありません。そこで、「甘い見通し」と「縦割りの対策」ではなく、「人口の1%を取り戻し、若者が安心して住み、結婚し、子どもを産み、育てることができる

中津」を創る政策を練りなおし、住民を巻き込んで、真剣に取り組む必要があると考えますが、如何ですか。

**答** まず、国全体が人口減少段階へ入り、多くの地方自治体で人口減少が深刻となっており、令和2年国勢調査では全国1,719市町村のうち82.5%の1,419市町村で人口が減少しています。そのような中で、当市の人口は前回比1,102人の減少、率にしてマイナス1.3%となっており、これは、県内では大分市、日出町に次ぐ低い減少率で、全国でも400位台、上位25%以内に位置しています。

このように、当市の人口推移が他の市町村と比較して人口減少が緩やかに抑えられているのは、これまでの取組みの成果であり、また、その人口は、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）による直近平成30年の推計、中津市人口ビジョン、いずれの推計よりも上回っている状況です。

今後も、これまで進めてきた「子どもを産み育てやすいまちづくり」のための子育て支援策や、結婚・出産の希望実現のための支援、雇用を生む企業の誘致、地域の産業振興などによる出生者数・転入者数を増やす取組みに一層注力してまいります。

特に人口減少の顕著な旧下毛地域については、買い物や通院など生活に欠かせない基本的機能の維持、日常生活の中での困りごとへの支援のほか、移住・定住に関する各種対策など、地道な取組みを重ねてきました。

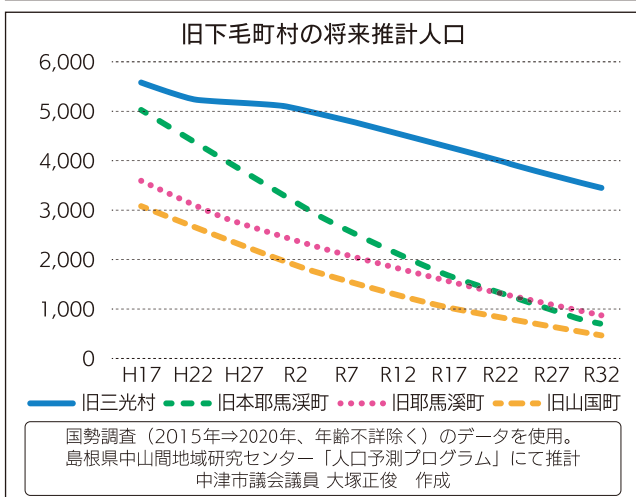
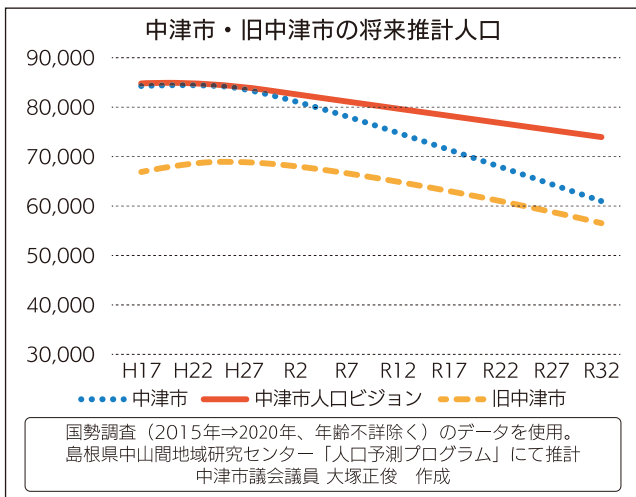
これに加え、今年度からは新規事業として、旧下毛地域における交流人口・関係人口の創出を目的とした補助金制度を創設し、地域活性化の取組みを支援しています。また、産業では、山国地域で35年ぶりとなる工場誘致も決定したところであり、今後中津日田道路の開通区間延伸により、さらなる立地も期待されます。このような取組みの効果として、より多くの方に地域での暮らしに幸せを実感してもらい、このことがさらに人や企業を呼び込む好循環につながるものと考えています。

◎アグレッシブな施策の展開について

**問** 社会が成熟している時代にあって、アグレッシブな施策を展開しなければ、中津市の発展や若者の期待感が高まっていきません。10年後、20年後のビジョンを明確にし、葛藤を恐れずに、変化を起こすことで躍動感のある中津市を目指すべきであると考えますが、如何ですか。

**答** 変化の激しい現代社会において、行政には、根拠に基づく政策立案や、現場の声をしっかりと把握し、市民ニーズに沿った施策展開を図ることが重要です。同時に、山積する課題に対して、限りあるリソース（人材、財源）で効果的、効率的に対応していく行財政運営も求められています。

このようなバランスを取りつつ、中津市では、これまで企業立地の促進や、子どもの遊び場・居場所づくりといった子育て支援、オンラインサービス拡充をはじめとした自治体DX推進など、攻めの施策にも積極的に取り組んできました。10年後、20年後の将来を予測することは非常に難しくなっていますが、そのような中でも、変化する社会情勢や時代の潮流に柔軟に対応しながら、常に「変化」を恐れず、困難な課題に「挑戦」し、市民ニーズに応える新しい施策を「創造」していくことで、市民や事業者の挑戦や創造を支援、後押しできるような基盤づくりを進めることが、行政の役割であると考えています。



# 12月議会 一般質問

- ◆令和5年12月議会において、市政全般に対する一般質問が行われました。その中から主な質問を紹介します。(質問順)
- ◆質問のタイトルの中で、色を変えた項目(ピンク色)についてのみ、質問と答弁の内容を掲載しています。
- ◆QRコードをスマートフォン等で読み込みいただくと、インターネット中継の議員ページにアクセスします。



三上 英範

(日本共産党)



- 誰もが幸せを求められる格差のない中津市に
- 7月10日豪雨災害の農地等の復旧について
- \*アグロエコロジーの推進を

**問** 市の100億円を超える積立金を利用して、大学進学の奨学金を創設するための課題は。

**答** 大学生対象の奨学金制度については、給付型の和田薫幸会や受給要件を満たせば受けられる日本学生支援機構の給付型・貸与型の奨学金があります。国の支援拡充の動きも注視していきます。

**問** 稲作農家は、生産費も償えていません。二度にわたる支援は農家を励ましていますが、農家の経営が持続できるように、支援拡大の継続を。

**答** 水田対策をはじめ米対策は、農政の根本問題で、国も今基本法の見直しをしており、この機会に地方から一緒に声をあげていきましょう。

**問** 9月の補正予算で提案のあった被災農家の分担金は、32,822千円です。分担金を求めず国の補助制度を最大限活用したら、市の負担はいくらですか。

**答** 受益者負担が発生しない場合は、90%の起債ができる。その起債に対し95%の交付税26,083千円あり、市の負担は4,759千円になります。



川内 八千代

(日本共産党)



- 国民健康保険
  - ・国民健康保険税引下げを
- 子ども、高齢者、障がい者支援
  - ・学童保育への支援
  - ・高齢者、障がい者への移動支援

**問** 国民健康保険税は社会保険料の2倍以上となっている。更に国保会計には12億円以上の基金があり、1世帯あたり11万円余っている。国保税は引き下げを。

**答** 令和6年度の国保税率につきましては、県から示される標準保険税率及び県への国保納付金の結果により検討したいと考えています。

**問** 学校から離れた場所にある学童保育所への通所を心配する保護者もいるため、安全確保や学校近くの施設活用の検討を。

**答** 今後も教育委員会や関係部署が一体となって安心・安全な児童の放課後の居場所づくりに努めてまいります。

**問** 高齢者、障がい者へのタクシー券配布の対象を広げて、通院など外出支援の拡充を。

**答** 福祉的交通弱者の支援事業として実施しており、今後も地域の実情に沿った交通弱者支援対策が実施できるよう、関係部署と連携をしてまいります。



木佐貴 佳子

(市民の会)



- 多文化共生社会について
- 全ての子ども達が安心して過ごせる学校環境
- だれもが本に親しみ、わくわくして過ごせる中津市

**問** 中津市にいる外国人の状況は。

**答** R5年10月末は2,443人となっています。

**問** 市に多文化共生専門の機関が必要ではないか。

**答** 今年度設置予定の「外国人相談窓口」については、様々な相談に一元的に対応するとともに多文化共生を進める専門機関としても位置付けています。今後も窓口を中心として多文化共生社会の構築に向けて部局横断的に取り組んでまいります。

**問** 養護教諭の働き方改革をどうするのか。また全ての学校に養護教諭を配置できないか。

**答** 養護教諭は学校内外の連携の核を担う役割を果たしています。県教委にも毎年養護教諭の加配申請を行っていますが、現状では大幅小学校への1名のみ配置となっています。また、市町村教育長協議会より県教委への教育条件整備の要望のひとつとして養護教諭の配置基準の見直しを要望していますが、今後も各校の状況を把握して対応に努めていきたいと思います。



千木良 孝之

(市民の会)



- スポーツ振興について
  - ・野球施設の利用方法・整備等
  - ・中学校の部活動地域移行の現状
- まちづくりについて
  - ・高規格道路のインター周辺整備

**問** 県は令和7年度末までに中学校の部活動を地域移行することを目指しています。市の現状は。

**答** 教育委員会内で連携会議を継続的に開催するとともに、学校関係者も交え部活動の適切な地域移行の在り方を協議しています。

**問** 部活動の地域クラブ移行に向けて今後の計画は。

**答** 対象児童生徒と保護者、教職員にアンケート調査を実施し部活動の地域移行に対する意識を把握し学識経験者や保護者・地域・スポーツ文化の関係者で部活動地域移行検討委員会をもち、現状に合った地域移行を検討します。来年度は準備の整った種目からモデル事業も検討を進めます。

**問** 中津日田高規格道路のインター周辺整備計画は。

**答** 都市計画マスタープランでは、沿線を工業団地や流通団地の立地を検討し、企業誘致と市内企業の転出防止を図るエリアとしており、まちづくりの目標である「良好な住環境の形成と市の発展につながる土地利用の促進」を進めています。

## 語句の説明

\*アグロエコロジーとは、自然と共存する持続可能な農法、農業のこと。



おお うち なお き  
**大内 直樹**  
(清流会)



- 中津市内の運動会
  - ・ 運動会のこれからについて
- アーバンスポーツの街、中津
  - ・ スケートボード施設等、利用を気軽に体験できる工夫について

**問** 感動や思い出の機会が減っていくこと、そこでしか経験できない地域の方との関わりや保護者との関わりが失われていくことへの不安感。子供を褒めるたくさん褒めたいという想い。運動会には、児童生徒の協調性、自主性、責任感の高まり、応援を受けることでの自己肯定感の向上などの効果もあると考えています。市として、今後の運動会をどのように考えていくのかお聞きします。

**答** 様々な声があることも承知しております。各学校が、運動会の目的をしっかりと達成できるように、地域と子どものつながりの維持へ工夫を求めつつ、市の教育委員会としても今後も各小中学校の取組みを支援していきたいと考えています。

**問** 気軽に利用できる工夫はされていますか。

**答** スケートボードエリアにつきましては、広く利用いただきたいと考えています。用具のレンタル等についても施設の指定管理者など関係者と前向きに協議を進めているところです。



す が かな こ  
**須賀 要子**  
(市民の会)



- ふるさとなかつ応援寄附金
- 子育てに優しい中津市を目指して
- 地球に優しい暮らしを中津から一脱炭素で活性化

**問** 市のあらゆる広報にふるさと納税をセットに。

**答** ふるさと納税のポータルサイトで、特集記事を定期的に情報発信したり、同窓会や県人会などでふるさと納税制度の基準が厳格化される中で、趣旨を遵守しつつ広報の拡大に努めています。

**問** 新学制服移行期間としての購入補助や措置は。

**答** 経済的な理由により、就学が困難な児童生徒の保護者に対しましては、子どもが等しく学びの機会を得ることができるよう、就学援助制度により、入学準備金を支給しています。来年度からは、就学援助制度の認定基準の見直しを予定しており、入学生全員への購入補助については考えておりません。現行の制度にて支援に努めてまいります。

**問** 市の脱炭素社会推進補助金の申請受付状況は。

**答** 本年9月より「中津市脱炭素社会推進事業補助金」を創設し、11月27日時点で太陽光発電設備が個人13件、事業者4件、蓄電池が個人11件、電気自動車個人11件を受け付けています。



つね が しん た ろ う  
**恒賀 慎太郎**  
(前 進)



- 教育施設の整備計画について
  - ・ 整備の優先基準は
  - ・ LED化の更新計画は
- 災害対策について
  - ・ 山国川土砂撤去は

**問** 整備計画の基準は、緊急度か耐用年数か。

**答** 中津市学校施設長寿命化計画を基本に、小中学校等42校を対象に、施設の劣化状況等によって、建替えも視野に入れ整備を実施します。

**問** 教育設備については、空調、トイレ様式化改修に取り組んでいるが、脱炭素と並行してのLED化の進捗状況はどのようになっているか。

**答** 学校照明のLED化改修については、\*カーボンニュートラルへの取組みなどを目的として、補助金を活用し整備を進めています。校舎LEDの状況は、14,430台に対し、5,250台となっており、LED化率36%となっています。

**問** 山国川の改修は、国交省が実施しているが、7月の豪雨で再度土砂が堆積した処理は。

**答** 7月の豪雨を受け、市長は国交省に8月22日、復旧と防災力強化の要望を実施しました。国の整備方針としては、広範囲での土砂堆積を撤去する緊急予算を確保し、早期復旧に努めています。



おく むら かず よ し  
**奥村 一義**  
(前 進)



- 子ども・子育て支援の充実について
- 防災に強いまちづくりについて

**問** 子育て支援が充実していると移住者も増えると思う。子ども・子育て支援の具体的内容は。

**答** 中津市では7年間待機児童が0です。そのためには施設数もちろん、保育士不足への対策も必要です。保育定員の拡大・保育士への奨学金返済支援・保育士就職応援金事業を行っています。また、大型遊具のある公園整備や『なかつこどもいきいきプレイルーム』を設置しました。プレイルームは市内外からの利用者が多く、設置から約5年で来場者が20万人を超えました。また、周産期母子医療センターや小児救急センターを運営しており、出産から子育てまで安心して暮らせる街づくりを行っています。

**問** 地域の防災の最小単位は自治会の班。班長さんを防災組織に入れ、活躍をしてもらえないか。

**答** 自主防災組織の体制や機能強化の支援を行うことで、誰一人取り残されないまち中津を目指すとともに市民全員の防災意識を高めていきたいと考えています。

**語句の説明**

\*カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの排出を実質ゼロにすること。





ふる え しん いち  
**古江 信一**  
(前 進)



- 空き家対策について
  - ・ シェアハウスとして活用を
- クリーンプラザ建て替え計画
- 防災対策について
  - ・ MCA無線の現状と対策

**問** 空き家を経費削減や隣室への配慮が要らない等の理由で、シェアハウスとして利用する若者世代が居ますが、高規格道路が旧下毛に延伸する中、過疎対策も含め視点を広げた利活用の検討を。

**答** 空き家バンクでも物件所有者の理解や空き家利用者とのニーズ等が合致すれば、シェアハウスとしての利用も可能であると考えます。ホームページにおける情報発信の工夫等、利活用へ向けたマッチングに繋げて参ります。

**問** 災害対策としてのMCA無線が聞こえにくいとの声が多いが、緊急時に迅速・正確に情報が伝わり蓄電機能もある防災ラジオの普及・防災力強化に行政側から更に積極的に取り組みませんか。

**答** 自治体や自主防災組織ごとに情報収集の手段も様々であることから、まずは自治委員さん宛にラジオの活用についてのご案内をお送りし、希望する自治会に貸与することで、防災ラジオの有効的な活用に努めていきたいと思います。



やま がけ とも がず  
**山影 智一**  
(豊の風)



- 中津市のブランディング
- スポーツによるまちづくり構想
- 相撲場整備
- スポーツハラスメント対策
- 交通安全と青少年育成

**問** 市の大きな魅力はスポーツ施設、アクティビティの充実である。伝統ある城下町、歴史文化偉人の伝承、饅やからあげ等の素晴らしい味覚。「スポーツによるまちづくり」効果は、①経済・社会の活性化、②健康増進、心身形成、病気予防、③自然と体を動かして楽しいまちへの転換と、国の重点施策。市の強みを認識し「スポーツによるまちづくり構想」を策定することを提案する。

**答** 「安心・元気・未来プラン2017」に基づきまちづくりを推進しています。スポーツについては全国規模の大会等の実施や、民間等によるイベントも随時開催され、その結果、交流人口の拡大、地域経済活性化に寄与しています。スポーツは体力向上や健康維持、心身の両面に様々な効果が期待され、スポーツに親しむことは活力ある社会形成に大きな意義があります。スポーツの力を改めてまちづくりの観点からも捉え直し、観光振興や地域活性化の効果などを加味しながら考えます。



お すみ とし こ  
**小住 利子**  
(公明党)



- 市民に寄り添う市の取組み
- 観光振興について

**問** 带状疱疹ワクチン接種費用助成の考えについて。

**答** 带状疱疹ワクチン接種費用助成につきましては国の動向を注視しながら、中津市医師会との協議も踏まえ、検討してまいりたいと考えています。

**問** 今後の介護人材確保の対策について。

**答** 市内介護事業所へ就職した場合の「就職奨励金」や「継続勤務報奨金」などの支援制度の調査、研究を行ってまいります。

**問** 全国規模の学会誘致のための制度づくりについて。

**答** 学会等を誘致する制度としましては、「中津市スポーツ・福祉・医療及び教育文化等大会開催補助金」制度があります。中津市内で宿泊施設を利用した人数に応じた金額を交付するものです。今後、全国規模の学会などが中津市で開催されるよう補助制度のPRに努めてまいります。



ほん だ てつ や  
**本田 哲也**  
(清流会)



- 田口に全面開通に向けて
- サイクルツーリズムを中津市の文化に
- 高齢者が安心して暮らせるまち
  - ・ きれいなまちづくりの第一歩

**問** 八面山の魅力づくりの取組みは。

**答** 道の駅なかつに八面山PR看板を設置し誘客につなげる他、様々な主体と連携して八面山活性化計画の策定に取り組んでいきたいと考えています。

**問** 「第1回ツールドやばけい」の開催状況は。

**答** 観光資源の創出と地域活性化を目的に開催、参加者は228名で遠くは茨城県からもありました。

**問** 来年度以降の継続に向けての方針は。

**答** 観光協会などと連携し、民泊・農泊施設や観光施設の紹介も併せて行い、観光の一つの軸として継続できるよう応援してまいります。

**問** まちなかサイクリングターミナルの拠点拡大は。


**答** 中津城から山国川沿いを走る新たなコース整備が予定されており、観光客や利用者のニーズ把握に努めてまいります。

**問** 老人クラブの魅力づくりとしての考えは。


**答** 老人クラブの目的や活動内容の見直し、魅力ある活動づくりを支援してまいります。

令和6年3月議会の開催日程(予定)

2月	20日(火)	本会議「開会・会期・議案上程」	
	27日(火)	本会議「一般質問」(4日間)	
	28日(水)		
	29日(木)		
3月	4日(月)	本会議「議案質疑」(2日間)	
	7日(木)		
	8日(金)		
	11日(月)	常任委員会	総務企画環境委員会
	12日(火)		産業建設消防委員会
	13日(水)		教育厚生委員会
	14日(木)		予備日
	18日(月)	本会議「自由討議」	
21日(木)	本会議「委員長報告・質疑・討論・採決・閉会」		



みえの たまえ  
**三重野 玉江**  
(清流会)



○ 人と猫の調和のとれた共生社会の実現を目指して

- ・ 求められる支援に対して、市の考えは

**問** さくら猫プロジェクトを利用する際、事前に捕獲器を借りたり、後日返却する時間を作るのが大変だという利用者の声があるが、できる支援は。

**答** 不妊去勢手術のための猫の捕獲器の貸し出しについては、北部保健所にて行っておりますので、必要に応じ保健所と調整を行うなどして、貸し出しが容易となるよう調整したいと考えます。

**問** 県内でも、時間的にさくら猫プロジェクトを利用できないが活動している人のために独自補助している自治体がある。全国的に行われている\*ガバメントクラウドファンディングで、猫の避妊去勢手術費用等の費用を募ってみてはどうか。

**答** ガバメントクラウドファンディングのような都市部に暮らす方が地域課題を身近に感じ、その問題解決に共感できる取組みは重要であり、これまで市が実施してきた飼い主のいない猫を減らす取組みがしっかりと伝わるよう、情報発信を強化し、ふるさと納税を通じた支援の拡大に繋がります。

**☆あなたも、議会を傍聴してみませんか。**

本会議の傍聴は、事前の申し込みがなくてもいつでもできます。また、委員会は委員長の許可を得て、傍聴できます。一般質問は、議会ホームページのライブ、録画放映、ケーブルテレビの放映、図書館でのDVD貸し出しでご覧いただけます。本会議の議事録は、議会事務局・図書館でご覧になることができます。また、ホームページ上でも閲覧できます。ご自由にご利用ください。

**語句の説明** \* ガバメントクラウドファンディングとは、自治体が行う寄附制度のこと。自治体が抱える問題解決のため、ふるさと納税よりも寄附金の使い道をより具体的にプロジェクト化し、共感者から寄附を募る仕組み。

**自由討議**

**◆中津市らしい子育て支援について**

- ①どうすれば子どもたちが中津市を好きになってくれるか
- ②子育て世代が真に求めること
- ③子どもたちのための条例について
- ④その他

(補足説明者：林秀明議員)



**◆一人暮らしの高齢者対策**

- ①病気や介護・認知症等の対策
- ②経済や住宅・生活環境の対策
- ③移動支援対策（ライドシェア）
- ④詐欺被害の対策
- ⑤孤独死対策
- ⑥地域のコミュニティやボランティア活動

(補足説明者：小住利子議員)



以上の2件について自由討議を行いました。

## 12月議会で決まった内容

令和5年12月議会は、11月28日から12月22日までの25日間にわたり開催されました。審議の結果、予算関係議案8件、条例関係議案8件、その他の議案10件、合計26件を可決し、人事案件6件を同意及び異議ない旨答申しました。以下にその一部をお知らせします。(詳細はホームページをご覧ください。) また、閉会中の継続審査となっていた決算議案12件を認定しました。

### 補正予算

- ◆令和5年度中津市一般会計補正予算(第5号)  
\*本年7月の豪雨災害の対応策として、本耶馬溪町青地区及び冠石野地区の用排水路設備を行うなど、所要の補正を行うもの。
- ◆令和5年度中津市一般会計補正予算(第6号)  
\*農業・漁業関係者や公共交通事業者への支援、住民税非課税世帯への追加支援を行うなど、所要の補正を行うもの。
- ◆令和5年度中津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- ◆令和5年度中津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
- ◆令和5年度中津市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
- ◆令和5年度中津市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- ◆令和5年度中津市水道事業会計補正予算(第2号)
- ◆令和5年度中津市下水道事業会計補正予算(第2号)

### 人事

- ◆中津市公平委員会委員の選任について  
ながまつ ゆうじ  
永松 裕士 氏(49歳)(中殿町3丁目)
- ◆中津市固定資産評価審査委員会委員の選任について  
ふるた ひろみ  
古田 廣美 氏(63歳)(大字永添)  
さかもり  
酒盛 みゆき 氏(45歳)(大字永添)
- ◆人権擁護委員候補者の推薦について  
すえひろ のりたか  
末廣 法崇 氏(50歳)(大字永添)  
ふこうず たかゆき  
深水 孝行 氏(70歳)(三光西秣)  
くろせ じゅんこ  
黒瀬 純子 氏(60歳)(大字福島)

※( )内の年齢は議案提出時の年齢

### 条例

- ◆中津市ケーブルネットワーク施設条例の一部改正
- ◆行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正
- ◆中津市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
- ◆中津市国民健康保険税条例の一部改正
- ◆中津市体育施設条例の一部改正
- ◆中津市職員の給与に関する条例等の一部改正について
- ◆中津市手数料条例の一部改正について
- ◆中津市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

### その他

- ◆公の施設の指定管理者の指定について\*9件
  - ・道の駅なかつ施設
  - ・中津市やかた地区交流拠点施設
  - ・中津市耶馬溪農林水産物等直売所
  - ・中津市耶馬溪農産物等加工施設
  - ・市営住宅(公営住宅を除く)
  - ・養護老人ホーム中津市豊寿園
  - ・中津市特別養護老人ホームやすらぎ荘
  - ・中津市本耶馬溪総合福祉センター外5施設
  - ・中津文化会館及びリル・ドリーム
- ◆財産の取得について  
\*告知放送端末の取得について議決を求めるもの

### 報告

- ◆専決処分報告について(和解及び損害賠償の額の決定)\*6件
  - ・公用車による公務中の交通事故に係る和解及び損害賠償額の決定
  - ・道路(市道)管理者としての和解及び損害賠償額の決定(4件)
  - ・市内中学校において、相手方が著作権を有するイラストを使用許諾得ることなく使用したことに伴う和解及び損害賠償額の決定

## 決算

- ◆令和4年度中津市一般会計決算の認定について
- ◆令和4年度中津市国民健康保険事業特別会計決算の認定について
- ◆令和4年度中津市農業集落排水事業特別会計決算の認定について
- ◆令和4年度中津市介護保険事業特別会計決算の認定について
- ◆令和4年度中津市小規模集合排水事業特別会計決算の認定について
- ◆令和4年度中津市サイクリングターミナル事業特別会計決算の認定について
- ◆令和4年度中津市後期高齢者医療特別会計決算の認定について
- ◆令和4年度中津市ケーブルネットワーク事業特別会計決算の認定について
- ◆令和4年度中津市病院事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
- ◆令和4年度中津市診療所事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
- ◆令和4年度中津市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
- ◆令和4年度中津市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

## 選挙

- ◆議会において中津市選挙管理委員及び補充員の選挙を行い、次の方々が当選されました。

### 【選挙管理委員】

ちや や ただふみ  
茶屋 正文 氏 (73歳) (大字永添)

いたたに せいじ  
板谷 清司 氏 (68歳) (大字諸田)

た なか きようこ  
田中 享子 氏 (67歳) (本耶馬溪町下屋形)

すがわら とも こ  
菅原 朋子 氏 (55歳) (字小祝)

### 【補充員】

しょうだ しげる  
生田 茂 氏 (68歳) (大字大塚)

にしむら しゅういち  
西村 秀一 氏 (71歳) (大字今津)

か く あけみ  
加来 明美 氏 (67歳) (大字東浜)

の なか たかあき  
野中 孝彰 氏 (65歳) (山国町宇曾)

※( )内の年齢は選挙時の年齢

## 虚礼廃止にご理解ご協力を

議員は、公職選挙法に基づき以下の行為は原則禁止されています。

- お中元
- 初盆等のお供え
- 暑中見舞い
- お歳暮
- 年賀状
- 寄附 等

また、市民の皆様が議員に寄附等を求めることも禁止されています。趣旨をご理解のうえご協力をお願いいたします。

### ◆賛否の分かれた議案

- [議第88号] 令和4年度中津市一般会計決算の認定について
- [議第89号] 令和4年度中津市国民健康保険事業特別会計決算の認定について
- [議第91号] 令和4年度中津市介護保険事業特別会計決算の認定について
- [議第94号] 令和4年度中津市後期高齢者医療特別会計決算の認定について
- [議第122号] 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について

(個人ごとの表決結果を賛成○、反対×、棄権－、欠席は欠で表しています。)

議案番号	議決結果	前進					清流会					市民の会			日本共産党		ほんき		公明党		山の風				
		林	角	恒	古	奥	渕	木ノ下	相	本	三	大	大	木	千	須	荒	川	三	中		藤	相	松	小
		秀	祥	慎	信	一	真	素	卓	哲	玉	直	正	佳	孝	要	ひ	八	英	伸	英	亜	民	利	智
議第88号	認定する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
議第89号	認定する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
議第91号	認定する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
議第94号	認定する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
議第122号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○

※上記以外の議案(請願・意見書・決議等の議員提出議案を除く)については、全会一致で原案可決となりました。なお、議長は採決に加わらないため斜線としています。